

開催の目的				
地域別構想の検討の段階にて、地域別のワークショップを複数回実施し、朝霞市のまちづくりの方向性や将来像の検討に反映するとともに、地域が主体となったまちづくり活動の機運を高めることを目的に実施しました。				
開催の概要				
朝霞市を5つの地域に分け（現行の都市都市マスタープランの地区分けを踏襲）、地域別のワークショップを行いました。				
	第1回	第2回	第3回	第4回
日時	4月26日（土）10：00～12：00	5月10日（土）13:30～15:30	5月24日（土）10:00～12:00	6月7日（土）10:00～12:00
場所 参加人数	内間木地域：上内間木町内会館（2人） 北部地域：産業文化センター（4人） 西部地域：弁財市民センター（8人） 東部地域：東朝霞公民館（5人） 南部地域：市役所（4人）	内間木地域：上内間木町内会館（5人） 北部地域：宮戸市民センター（4人） 西部地域：リゾンコミュニティギャラリー（7人） 東部地域：東朝霞公民館（1人） 南部地域：市役所（4人）	内間木地域：内間木公民館（4人） 北部地域：産業文化センター（4人） 西部地域：弁財市民センター（4人） 東部地域：東朝霞公民館（4人） 南部地域：市役所（5人）	会場：産業文化センター ※全地域合同開催 参加人数 内間木地域：5人 北部地域：4人 西部地域：4人 東部地域：5人 南部地域：5人
テーマ	地域の良いところと改善したいところを話し合おう	地域づくりの目標を設定しよう	みんなで議題を決めて話し合おう	私たちからの提案 （この地域で特に進めていきたい取組の提案）

振り返りアンケートの結果

〈新たな気づきや意見が「あった」と回答した方はどんな気づきがあったか記入してください〉

まちづくり
・古い商店街を活用したい。(北部地域)
・水害の被害や町内会の存続の危機があることから、地域内での助け合いが必要だと思った。(西部地域)
・同じ西部地域に住んでいても、感じている課題が人によって異なることが分かった。(西部地域)
・道路の事情を知り、区画整理の大切さに気が付いた。(北部地域)
・朝霞市全体のつながりを考えるきっかけになった。(南部地域)
・各地域の共通の問題は、道路の拡充と公共交通の利便性の向上であると思った。(東部地域)
・地域によって課題は様々だが、共通してまちづくりに対する想いが強いと感じた。(内間木地域)
グループワーク・議論結果の共有
・話し合いのなかで「残したいもの」や「欲しいもの」が見えてきた。(西部地域)
・地域ごとに特徴があることがより分かった。(南部地域)
・他の人の考えが聞けて良かった(北部地域)
・参加者それぞれ視点が異なり、自分にはない視点に気づくことができた。(内間木地域)
・浄水場に関することなど、他の地域の課題に気が付いた。(西部地域)
・3回目でグループワークの内容が具体的になった。(西部地域)
・自分の見えていない問題に気づけた。(内間木地域)
・まずは「ゆるいつながり」という言葉が良かった。(北部地域)
・同じ市内でも特性やニーズが異なる点も多くあった。(東部地域)
・地域ごとの特性が出ている意見を聞くことができ、とても参考になった。(内間木地域)

〈感想〉

まちづくり
・役所に要求するだけでなく、市民ができる事もあると思った。(北部地域)
・地域には特性があり、色んな考え方があって良いと思った。地域全体で協力してより良いまちに出来たら良いと思った。(南部地域)
・市民、市との共助をもっと発展させたい。(南部地域)
・とても勉強になり、地元を良くしたいという気持ちが高まった。(北部地域)
グループワーク
・地域の課題や解決方法等について議論出来たことは非常に良かった。(西部地域)
・話し合いが活発にできて面白かった。また、各地域の意見も特徴があって良かった。(東部地域)
・朝霞市を盛り上げたい人や住みやすいまちにすることを考える人が多くいることが分かって嬉しかった。(南部地域)
・同じ地域に住む人と話せたことが良かった。(西部地域)

～第4回ワークショップ（全地域合同開催）の様子～



内間木地域のまとめ

①地域の中であなたが一番好きな場所は？

・荒川の土手道、公園　・内間木神社　・新河岸川 等

②この地域の特徴を表すキーワードは？

254号バイパス／水害／交通環境が不便／地縁の強さ／河川／自然が豊か／車社会／内間木公園 等

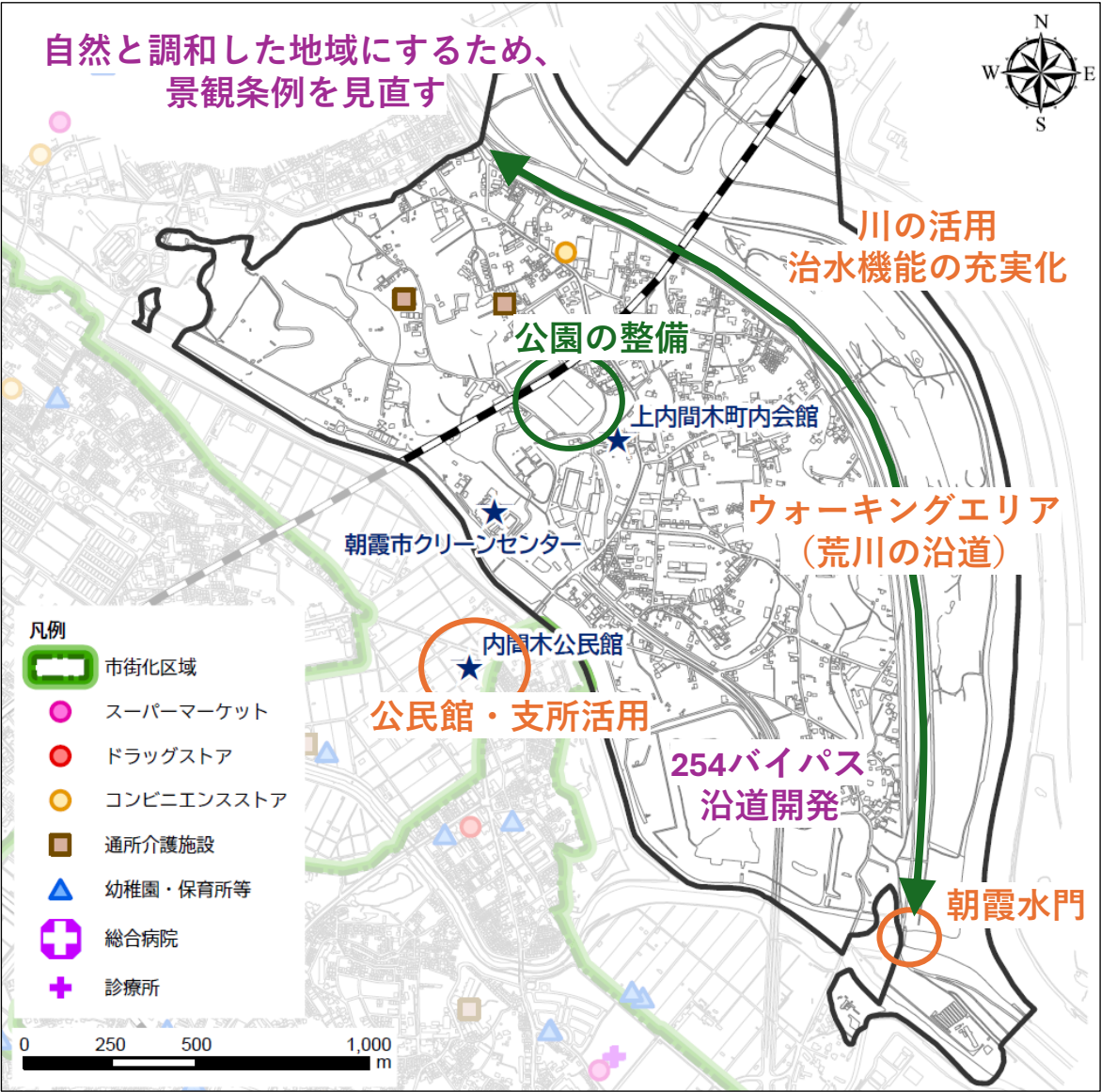
重点課題1：車両の通行に対する歩行者・自転車の安全対策

問題・困りごと	取組方針（目的）	具体的な取組	私たちからの提案
・スピードを出して通行する車両が多い ・トラックが通行する際には歩道の空間が確保されず、歩行者の通行が困難になる	・車両が減速する工夫をする	・カラー舗装をする ・スピード減速に関する署名を集め、トラック会社に提出する	住民が地域の事業者とコミュニケーションをとる！ 地域の事業者、特にトラックの出入りがある企業が、町内会や自治会に参加し、地域住民とのコミュニケーションの機会を持つことで、「トラックの減速」などに関する意見交換がしやすくなるという議論がされました。また、横断歩道や停止線が薄くなっていないか、標識に損傷がないかの見回りをするといった取組も挙げられました。
・生活道路をトラックが通過する	・生活道路でのトラックの走行を減らす	・生活道路でのトラックの走行の抑制を促すような看板案を考える	
・信号機のない横断歩道（阿弥陀付近）では、交通量が多く、歩行者が安全に横断するまでに時間を要する	・横断歩道で車両が停止する工夫をする	・住民で横断歩道で車両の停止を促すような看板案を考える	

重点課題2：公共交通の利便性の向上

問題・困りごと	取組方針（目的）	具体的な取組	私たちからの提案
・目的地がバスの運行ルートに含まれていない	・バスの運行ルートの見直しをする	・バスの運行ルートを提案する	住民から市に対して、地域が抱えている具体的な課題・意見を共有する。 地域内の課題や公共交通に関する具体的な意見を整理・把握し、それらを市に適切に共有していくことが、住民としての取り組みの第一歩であるとの意見が出されました。
・自分の後からバスに乗る人が乗り切れないのではないかという不安がある	・乗降客数が分かる仕組みを整える	・バスアプリの開発を進める	
・乗りたい時間にバスが来ない ・バス停が遠い	・新たな交通手段を検討する	・デマンド交通の検討を進める ・高齢者へのスマホトレーニング教室を開催する	

私らしい暮らし	冠水・浸水対策をし、住み続けたいまち・戻ってきたいまち
にぎわい・活力	内間木公園の再整備・254号バイパス沿道の活用
快適な移動	公共交通の利便性の向上
自然・環境	環境の整備（緑・景観・農地）
安全・安心	歩道の安全を確保する（子ども～高齢者が安心して通れるように）



方針図について、**「ポテンシャルの活用」**と**「土地利用の検討」**の大きく2つの観点からの提案がありました。荒川や朝霞水門といった地域資源のポテンシャルを活かし、ランドマークとして整備することで、内間木地区の認知度が他地域にも広がるのではないか、という意見が出されました。あわせて、国道254号バイパス沿いの土地を開発することで、より多くの人に利用される地域になる可能性があるという意見もありました。

北部地域のまとめ

①地域の中であなたが一番好きな場所は？ ・浜崎団地前の植林公園 ・黒目川の左岸 ・黒目川 等
②この地域の特徴を表すキーワードは？ 朝霞浄水場／黒目川の自然／住宅が密／緑が減りつつある／歩道が少ない／駅周りは賑わいがある 等

重点課題1:快適で安全・安心な道路

問題・困りごと	取組方針（目的）	具体的な取組	私たちからの提案
自動車交通量が多く、危険を感じる。	歩行者の安全性を高める。	・車両の速度規制を行う。 ・車両を一方通行にする。 ・交通事故が発生しにくいまちづくりを進める。	市民や民間企業の力を使いこなす！ ・本田技研工業(株)と市民で地域を歩いて、事故の可能性がある場所を見つけよう！ ・本田技研工業(株)と市民で交通ハザードマップをつくろう！
歩道が狭く、歩きづらい。	歩行者の安全性を高める。	・歩道を新設する。	
鉄道や浄水場、河川によって地域が分断されている。	行き来がしやすくなるよう新たな動線を設ける。	・朝霞台駅を平面で通り抜けられるようにする。 ・浄水場内を市民が通り抜けられるようにする。	

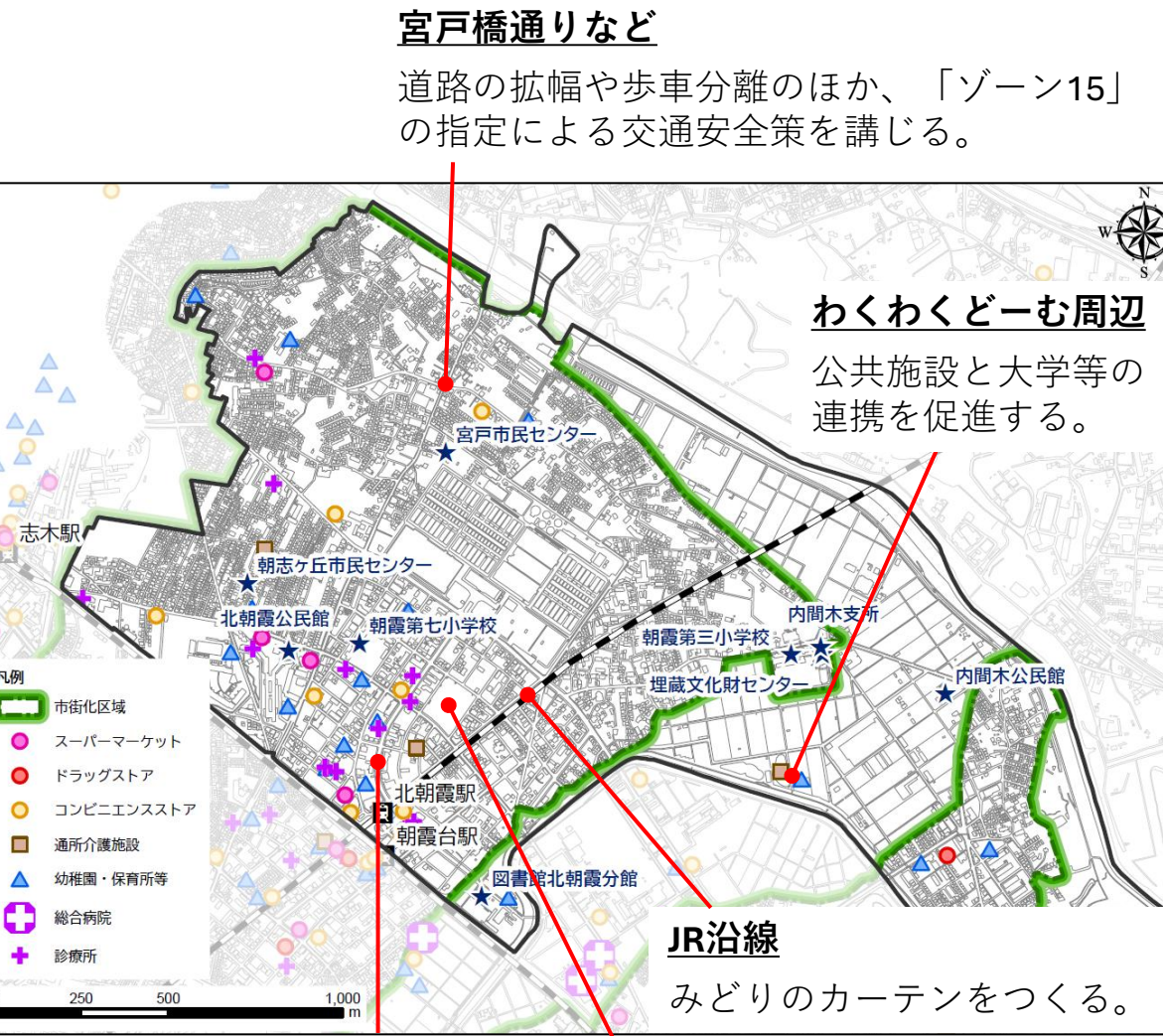
重点課題2:公共交通の利便性の向上

問題・困りごと	取組方針（目的）	具体的な取組	私たちからの提案
「目に見えるみどり」が少ない。	「目に見えるみどり」を増やす。	・鉄道沿線に「みどりのカーテン」をつくる。 ・道路に「ホンダ通り」などと愛称をつけ、植樹などに参画いただく。	ニンジンを活かしたにぎわいづくりを！ ・ニンジンおどりやニンジンイベントを企画して人の輪を広げよう！ ・ニンジンの生産量を増やすなど、目に見えるニンジンを増やそう！
朝霞市の名産である「ニンジン」のPRが不足している。	「ニンジン」を活かしたにぎわいづくりを行う。	・道路空間を活かしてニンジンをアピールする。 ・ニンジン料理の常設メニューを考え、PRする。 ・地元のお店や町内会などでニンジンを育てる。	

重点課題3:浄水場との共存

問題・困りごと	取組方針（目的）	具体的な取組	私たちからの提案
浄水場に地域が分断されている。	地域住民も使いやすい浄水場にする。	・浄水場内を市民が通り抜けられるようにする。 ・定期的にイベントを開催し、市民に対してオープンな施設にする。 ・国や議員の方々も巻き込み、住民の意見を東京都に届きやすくする。	地域に開かれた浄水場にしよう！ ・浄水場の見学会を開催するなど、市民が積極的に関われる浄水場にしよう！
北部地域のまちに合った浄水場でない。	まちにマッチした浄水場にする。		

私らしい暮らし	若い世代を中心に選択肢が多いインクルーシブなまち
にぎわい・活力	まちに愛着をもち、自らにぎわいを創出したいまち
快適な移動	人中心の安全に移動しやすいまち
自然・環境	目に見えるみどりが多いまち
安全・安心	犯罪しにくく、災害時に逃げやすいまち



駅前通り	ニンジンをPRする。
上記のほか、特定の場所ではなく地域全域に関わる提案として「自転車道の整備」や「市民が水を飲みながら少し休めるポケットパークの整備」、「道路のデザイン（舗装など）による誘導や景観への配慮」の提案がありました。	
また、現行の方針図に対しては「各施策のつながりがわからない」という意見が出され、施策間のつながりを生むキーワードとして「ニンジン」が挙げられました。	

東部地域のまとめ

①地域の中であなたが一番好きな場所は？ ・向山公園 ・黒目川の土手の桜 ・水久保公園の坂道 ・朝霞駅東口 等
②この地域の特徴を表すキーワードは？ 静かな住宅街／大型商業施設がある／道路が狭い／買物に便利／都内に出やすい／黒目川／歩道が狭い 等

重点課題1：誰もが移動しやすい環境の創出に向けて

問題・困りごと	取組方針（目的）	具体的な取組	私たちからの提案
・道路が狭く、カーブミラー等の設置など交通安全対策が不十分	・安全に通行できる環境を整える（特に通学路）	・物理的なデバイスと交通規制を組み合わせた交通安全対策の実施	①意識を変える！ ・地域、自分たちでできることは地域でやってみる ・消費、交通手段、暮らし方の選択を考え直す ・移動の目的をつくる ・道路に対する意識を変える（通るからつかうへ）
・駅周辺で安心して歩ける空間が確保されていない	・歩行者が歩きやすい空間を確保する	・交通規制による歩行者空間の確保	②ルールの周知・徹底 ・子どもと保護者への交通ルールの教育 ・自転車の乗り方の周知
・連続した歩道のネットワークが確保できていない ・自転車の走行空間が確保できていない ・自転車のルールが守られていない	・歩道・自転車のネットワークが強化され、安心して移動できる環境を整える	・片側だけでも歩道を確保 ・自転車走行環境の整備 ・自転車のルールの周知、徹底を図る	③通学路の安全性強化 ・交通規制を活用した面的な交通安全対策の実施
・交通手段の選択肢がエリアによって濃淡がある	・誰もが移動しやすい環境を創出する	・新たなモビリティの積極的な活用 ・モビリティの結節機能の充実 ・ロータリーでの公共交通と一般車の棲み分け	④ネットワークの強化 ・片側だけでも歩道確保 ・自転車のネットワークの形成

重点課題2：農地や斜面林等の地域資源の維持・活用

問題・困りごと	取組方針（目的）	具体的な取組	私たちからの提案
・担い手がない ・管理にお金がかかる ・管理不足による安全性の不安	・農業の高付加価値化 ・農業等に関わる仕組みづくり ・地域の資源であることの認識の共有、地域で資源を守り育てる意識醸成	・市民農園にする ・農業の高付加価値化や法人化、販売ルートの開拓に向けた支援 ・収穫体験など“こと”をお金にする ・住民等が関わる仕組みをつくる	①“こと”をお金にする仕組みづくり ・収穫体験など農業等に関わる仕組みづくり ②子どもの時から関わる仕組みづくり ・学校教育に地域資源の維持・活用の取組を組み込む

私らしい暮らし	居住環境を高めつつ地域力も高める
にぎわい・活力	メリハリをつけてにぎわいを創出
快適な移動	誰もが移動しやすい環境の創出
自然・環境	農地や斜面林等の地域資源の維持・活用
安全・安心	もしもに備えて地域の防災をバージョンアップ



方針図について、「駅前拠点」や「移動」、「土地利用」の大きく3つの観点からの提案がありました。

「駅前拠点」では、既存のストックを活用しながら都市機能の充実やアイレベルのオープン化により歩いて楽しい空間にする提案。「移動」では、幹線道路の整備や駅へのアクセス道路の安全性向上、鉄道を横断した東西の連携強化を図る提案。「土地利用」では、ポテンシャルを活かしつつ、周辺の住環境や自然環境に配慮したメリハリのある土地利用についての意見、提案がありました。

西部地域のまとめ

①地域の中であなたが一番好きな場所は？
・黒目川沿いの土手 ・きた割公園（飛行機公園） ・朝霞台駅南口駅前 ・島の上公園や高台 等
②この地域の特徴を表すキーワードは？
建物が密集／ホンダ／交通安全／自然／公園／道路が狭い／緑が少ない／駅乗降客が多い／歩道がない 等

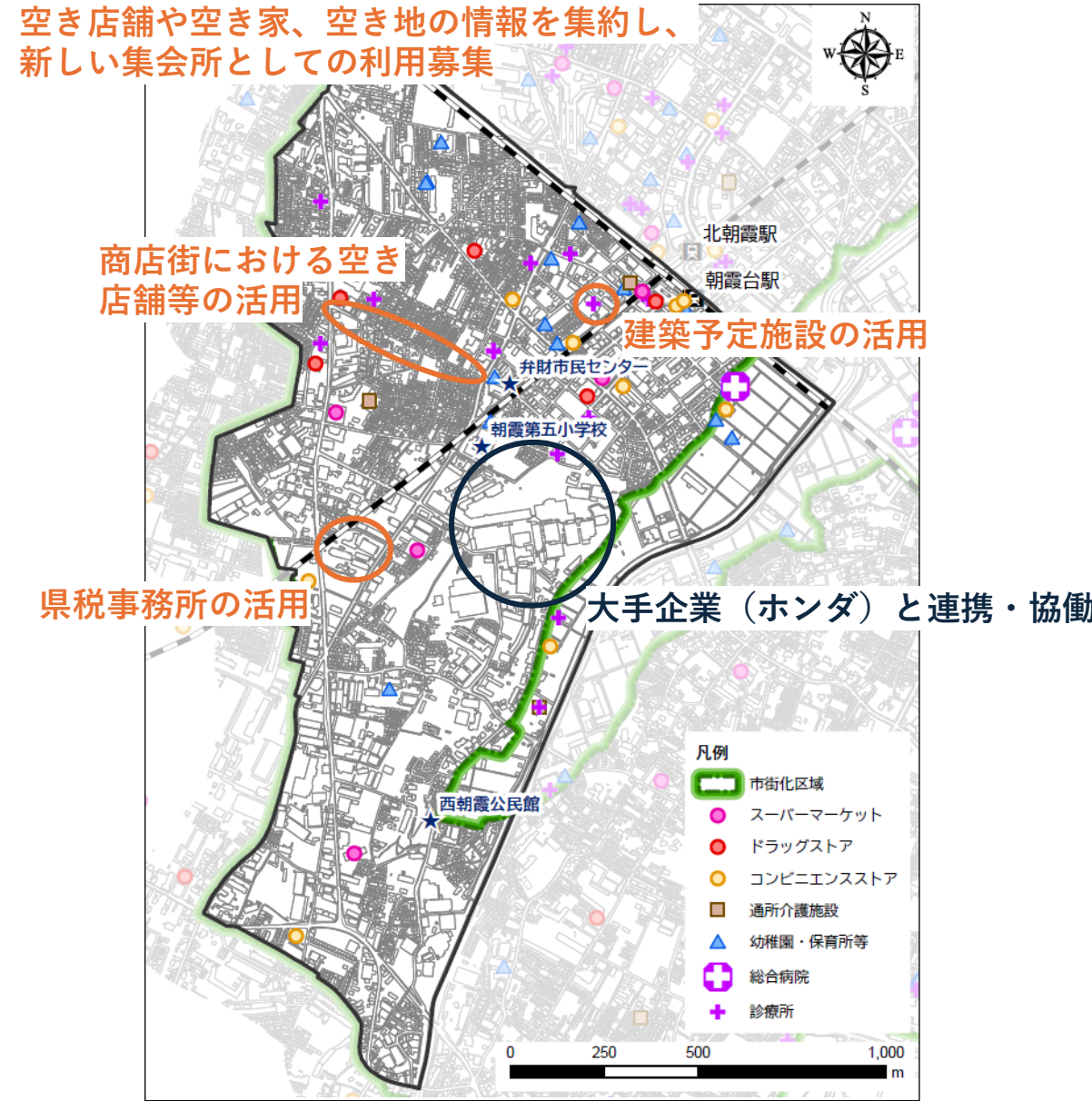
重点課題1：コミュニティ

問題・困りごと	取組方針（目的）	具体的な取組	私たちからの提案
・緑が少なく、子どもが伸び伸び遊べる公園が足りない	・公園や黒目川沿いなどの既存資源を活用し、楽しめるような企画を図る	・南部地位の漁業組合と連携し、釣り具などを貸出し、釣りができるような仕組みをつくる ・民間企業等と連携し、ベンチを設置する。また、通常のベンチだけでなく、ボックスシートのようなベンチの設置も検討する	場所と人のつながりを！ 遊休農地などを有効に活用できるように、土地所有者と直接交渉を交わすことによって、地域内の公園・広場を増やす。 また、黒目川沿いの自然環境を守るとともに、地域内において農業の後継者を育成し、地域の人たちが農業を支えるような仕組みを作る。
・住民が集まってサークルができるような施設が足りない	・既存の施設を集会所としての利用を考える ・民間が所有している資産を市民集会所の場としての利用を考える	・放課後に学校を集会所として使えるような仕組みを検討する ・民間の空き室を集い場として利用する仕組みを考える ・一人暮らしの高齢者の家を大学生を対象に下宿として利用することで、高齢者との定期的な交流を図る	
・近所のスーパーでは地元産の野菜を売っていない	・地元産農産物を販売する場づくりを図る	・JAの駐車場を、地元産野菜を販売するマルシェとして活用する	

重点課題2：交通

問題・困りごと	取組方針（目的）	具体的な取組	私たちからの提案
・全体的に道路が老朽化しており、劣化している箇所が多くみられる。 ・歩道が細切れになっている	・歩きやすい、安全に通行できる道路を整備する	・対面交通が多い五差路周辺のスクランブル化を検討する ・ハンプ設置やグリーンベルトを活用し、自動車の速度を制限する ・道路の一方通行化による歩行空間の創出を検討する	新しい交通手段を！ ホンダ、大学、公募有識者などで第三者組織を形成し、新しい交通手段について考えていく。
・公共交通の利便性が悪い	・コミュニティバスの利便性向上を図る ・新しい交通手段の導入を図る	・コミュニティバスのサービスターゲットを踏まえたルート見直しを検討する。 ・企業や研究機関と連携した新しい交通手段を検討する	道路の更新 区画整理を行う際に、道路の拡幅工事を図る。

私らしい暮らし	コミュニティスペース・複合的
にぎわい・活力	地元農産品の即売場、レストラン等のマルシェ
快適な移動	バスだけでない移動手段の多様化
自然・環境	桜並木の維持・植樹
安全・安心	交通安全(歩道、道幅)と浸水リスクと密集市街地リスク



方針図について、「既存ストックの活用」と「交通手段」の大きく2つの観点からの提案がありました。

「既存ストック」では、町税事務所や建築予定となっている複合施設などの高校施設だけでなく、商店街に立地している空き店舗や地域内にある空き家など、個人で所有している財産を含め、住民団体が所有者と直接交渉を交わすことによって、地域の交流の場として活用する提案、「交通手段」では、大手企業に協力をいただくように交渉し、新しい交通手段の利用によって移動利便性の向上を図る提案がありました。

南部地域のまとめ

地域の好きなところ・特徴を表すキーワード

【WS①】

①地域の中であなたが一番好きな場所は？

・市役所～警察の並木道 ・シンボルロード ・朝霞の森 ・基地跡地 ・膝折 ・元膝折上水所の辺り 等

②この地域の特徴を表すキーワードは？

子供が多い／朝霞市の中心（公共的）／ケヤキ並木／基地跡地／宿場町と歴史／住宅地／駅のにぎわい 等

取組の提案

【WS③・④】

重点課題:これからの南部地域のつながり・集いの場のあり方

問題・困りごと	取組方針（目的）	具体的な取組
【地域への関心】 ・自治会加入者が減り自助の働きが弱まっている ・まちづくりや歴史・伝統の継承といった意識が希薄	・情報の発信	・町内会の案内を工夫する ・インスタなどSNSを利用
【知り合う・つながる】 ・自治会が何をしているのかわからない ・近所の人でも知り合うきっかけがない	・つなぐ人を育てる	・人と人をつなぐ（まわす）人を育てる ・ボランティア団体の育成と連携
【移動不便 地域分断】 ・移動できない人とつながることができない ・地域間の移動が不便（心理的にも）	・知り合うきっかけをつくる	・大型のイベントは知り合うきっかけづくりとなる ・マンション交流会を立ち上げる ・ドラッグストアなど、市民がいつもいく場所に掲示板を設けてもらう
【集まる場所】 ・集まる場所が少ない、あっても周知されない	・移動手段の確保	・車の配車や食料品の調達などを共同で行う ・シェアサイクル周知
【困りごとをどこに相談できる？】 ・困りごとをどこに相談すればよいかわからない	・あるものを使って集まる場所をつくる	・集まる場所をつくる。ドラッグストア、個人宅、スナックや居酒屋などでもOK ・新しい建物はいらない
	・困りごとの相談先がわかる、助け合う	・市長への目安箱（あることを知らない） ・おせっかい焼きが増える

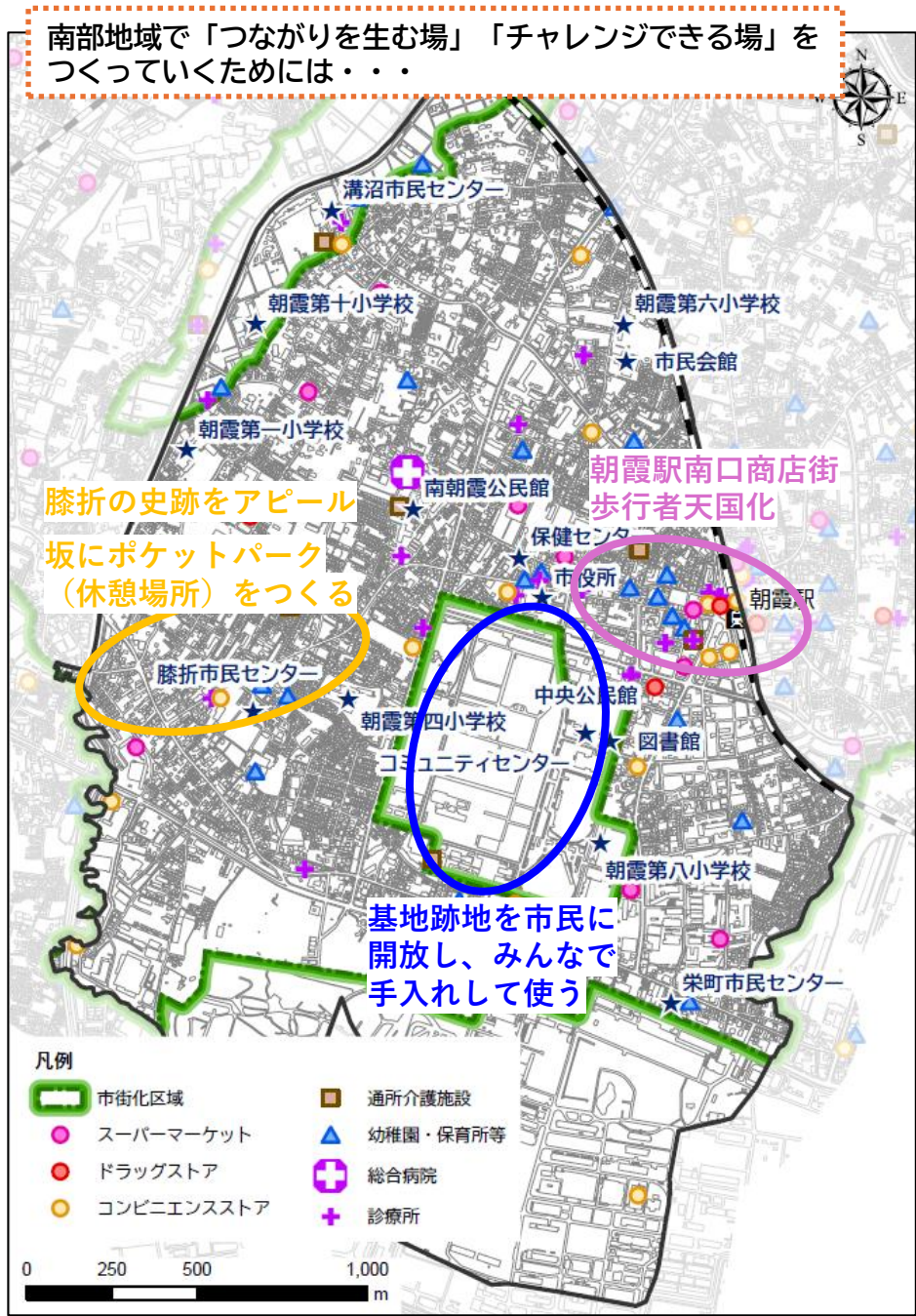
まちづくりの5か条

【WS②】

私らしい暮らし	子どもから高齢者、障がい者も安心して暮らせる環境づくり
にぎわい・活力	歴史や地形を公民で活かして朝霞を楽しむ
快適な移動	高齢化に対応した持続可能な移動手段の確保
自然・環境	市民の手で緑や環境をもっと良くしていく
安全・安心	狭いみちでも安全で、いざというときにも安心

方針図の提案

【WS④】



南部地域では「「つながりを生む場」「チャレンジできる場」をつくっていくためにどんなまちづくりをしていくべきかという視点から意見を出し合いました。その結果、朝霞市を代表する基地跡地の緑をみんなで使えるようにする、膝折の史跡をもっとアピールする、駅前の商店街を歩行者天国化する、といった提案が出ました。